

佐賀漢方講演会のご案内

拝啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
この度、日本東洋医学会広報担当委員長の川越宏文先生（宮崎市ちぐさ東洋クリニック院長）をお招きし、ご講演を賜る運びとなりました。
つきましては、下記の通り講演会を開催致したく存じます。
ご多忙とは存じますが、この機会に是非ご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

敬具

－記－

日時

平成27年9月26日（土） 19:00～20:30

場所

サンシティオフィスビル4F Dホール

住所：佐賀県佐賀市神野東2丁目1-3 0120-371-820

講師

ちぐさ東洋クリニック 院長

川越 宏文 先生

演題

漢方でアップさせたい
患者さんとお医者さんの満足度
～隣のクリニックに差をつける漢方薬のトリセツ～

サブテーマ

- 漢方薬を求める患者層とその特徴
 - 西洋医学的治療と漢方的治療の違い
 - 実は漢方的診察法である四診は実は重要な治療のツール
 - さまざまな漢方関連グッズ、既に待合室で治療は始まっています。
 - 標準治療とのベストミックス
- ・・・得するおまけの話

【川越 宏文先生 ご略歴】

久留米大学卒業

現在の役職

日本東洋医学会・代議員・専門医・広報担当委員長

日本臨床漢方医会・理事

宮崎県医師会東洋医会会長

国民健康保険支払い基金審査委員

ご挨拶

現在、多くの医師が漢方薬を処方し、技術向上のため参加する漢方メーカー主催の講演会で教えられた処方は、なんとなく効いているぐらいの感触。そんな医師の中には再び漢方から離れられる方も少なくないようです。

エライ漢方の先生の薬って、どうしてそんなに効くのだろうか？

私も25年前には同じような疑問を持っていました。
その答を求め平成6年より東京女子医大附属東洋医学研究所で修行しました。

そして、得た答は
「漢方薬は漢方治療の部分であり、処方選択以外の重要な要素がある」

先哲の多くの漢方クリニックで陪席したり、処方書きをしている時、蓄積された様々なノウハウを知りました。今日はそのお話をします。

私は平成21年から内科+漢方で小さなクリニックを開業。そのノウハウを駆使して経営しています。そのプライマリーケア重視のフットワーク軽快な低予算クリニックの経営状況もお伝えします。

将来の医療の方向性に合わせたクリニック環境を整え、その中で生き残るためには、医師やクリニックの特徴なるキラーコンテンツが必要となります。漢方薬を用いた治療施設づくりとサービス展開はそのキラーコンテンツの1つになり得ると確信しています。皆様の臨床にお役に役立ていただけますよう準備して佐賀に参ります。佐賀で是非お会いしましょう。

サンシティオフィスビルへのアクセス

JR佐賀駅・バスセンターより
徒歩1分

